

別記様式

		担当課	健康づくり課
会議の名称	令和5年度第2回鴻巣市地域保健推進協議会		
開催日	令和5年10月24日(火)		
開催時間	午後1時25分開会・午後2時25分閉会		
開催場所	鴻巣保健センター 1階接種待合室		
議長(委員長・会長)氏名	議長(会長) 大塚 健二		
出席者(委員)氏名(出席者数)	大塚 健二、松村 浩基、島崎 淳、下村 正司、大島 幸雄、古澤 近、秋池 恵美子(7名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	山川 英夫(1名)		
事務局職員職氏名	健康福祉部長 木村 勝美 健康福祉部副部長 矢澤 欣子 健康づくり課長 佐々木 志万子 健康づくり課副課長 吉野 純子 健康づくり課主査 萩原 敬子、鈴木 紀子、高木 啓一 健康づくり課主任 内田 有里恵 健康づくり課技師 八巻 真美 地域計画株式会社 竹田 綾香 (10名)		
傍聴の可否(傍聴者数)	可(なし)		
会議の内容	1 開会 2 議事 「第2次鴻巣市健康づくり推進計画(第4次鴻巣市健康増進計画・第3次鴻巣市食育推進計画 鴻巣市歯科保健口腔推進計画)【素案】及び「第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画【素案】」について 3 その他 4 閉会		

●議事

計画素案について、事務局より一括で説明。

- ・「第2次鴻巣市健康づくり推進計画（第4次鴻巣市健康増進計画・第3次鴻巣市食育推進計画 鴻巣市歯科保健口腔推進計画）【素案】」

第1章では、計画の策定にあたっての背景や趣旨、位置づけ等を記載。現計画との相違点として、次期計画では、SDGsの視点を取り入れている。計画の期間は、令和6年度を初年度とし、令和11年度を目標年度とした6か年計画となっているが、社会状況の変化等により見直しの必要性が生じた場合は、随時見直しを行う。

第2章では、本市の健康をめぐる状況を記載。計画の策定にあたり、市民の「健康」についての意識などを把握するため、健康づくりアンケート調査を実施した。

第3章では、鴻巣市が目指す健康づくりとして、基本理念を前期計画から継承し設定した。また、基本理念を実現するため3つの基本方針を設定し、ライフステージごとの健康課題に応じた取組を推進し、市民一人一人が備えることができるよう、それぞれの世代にあったアプローチ方法での情報発信等を行うこととしている。

第4章では、具体的施策としてライフステージごとの健康課題における現状や課題、市の取組等について記載。

第5章では、計画の推進として、推進体制、進捗管理を記載。

- ・「第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画【素案】」

第2次鴻巣市健康づくり推進計画と同様に、第1章では、計画の策定にあたっての背景や趣旨、位置づけ等を記載。現計画との相違点として、次期計画では、SDGsの視点を取り入れている。計画の期間は、令和6年度を初年度とし、令和11年度を目標年度とした6か年計画となっているが、社会状況の変化等により見直しの必要性が生じた場合は、随時見直しを行う。

第2章では、鴻巣市の現状について記載。本市の自殺者が全国と比べて最も多い区分は、「男性・40～59歳・有職者・同居」。原因・動機については、人数、割合ともに、健康問題が最も多い。本市の現状を踏まえた課題として、相談できる体制づくりや、人材育成、世代や性別に応じた対策等についての必要性を記載した。

第3章では、基本的な考え方として、基本理念を定め、基本認識として、自殺総合対策大綱の基本認識を念頭に置いて、自殺対策を推進していくこととした。また、基本理念の実現を目指すため、基本認識を踏まえ、自殺総合対策大綱により示された6つの基本方針に沿った総合的な自殺対策を推進することとした。

計画の数値目標としては、国・県の目標を踏まえ、本市の計画期間内に達成すべき目標として、前計画を継承し、数値目標を定めた。

本市の自殺対策は、国が定める「地域自殺対策政策パッケージ」において、全ての市町村が共通して取り組むべきとされている、6つの「基本施策」と、本市

における自殺の現状を踏まえてまとめた、3つの「重点施策」で構成されている。

第4章では、自殺対策の支援施策として、基本施策として、地域におけるネットワークの強化、人材の育成、啓発、相談・支援体制の充実等について、重点施策として、本市の自殺のハイリスク群である、「高齢者」、「生活困窮者」、「勤務・経営」への対策について記載。また、取組の効果を検証するため、目標値を定め、評価・見直しを行う。

〈委員質疑〉

資料は、会議前に送付いただいた。本日改めて提供があったが、ページ数も多いため、以前から変わった部分についてのみ提示いただくことでもよかったですのではないかと、思うが。

〈事務局回答〉

10月12日に資料を配送したが、現状を踏まえて指標以外にも大きく変わる部分が出てきた。見比べる必要がないよう配布させていただいた。

〈委員質疑〉

自殺対策について、自殺者の親の内情など調べた方がいいのではないかと、生活過程から引きこもりの根本になる可能性がある。

〈事務局回答〉

自殺の背景がどこにあるのかという点で、具体的に家族の支援とは書いていないが、ゲートキーパーというキーワードがあり、ゲートキーパー研修を多くの職員が受けている。家族にリスクがあると察知した時には、適切な相談窓口を紹介するというアンテナを高く張っていることになる。

●その他

事務局より連絡事項

- ・今後のスケジュール

パブリックコメントを経て、年明けに本協議会へ最終案を報告。その後、市長への答申。

- ・次回会議日程について

令和6年1月24日（水）開催予定 案内は後日送付。

閉会

（会議時間 1時間）

配布資料

資料

- ・ 第2次鴻巣市健康づくり推進計画
 - 第4次鴻巣市健康増進計画・第3次鴻巣市食育推進計画 鴻巣市歯科保健口腔推進計画【素案】
 - ・ 第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画【素案】
- 《当日配布》
- ・ 次第
 - ・ 席次表
 - ・ 数値目標資料